

畜産みやぎ

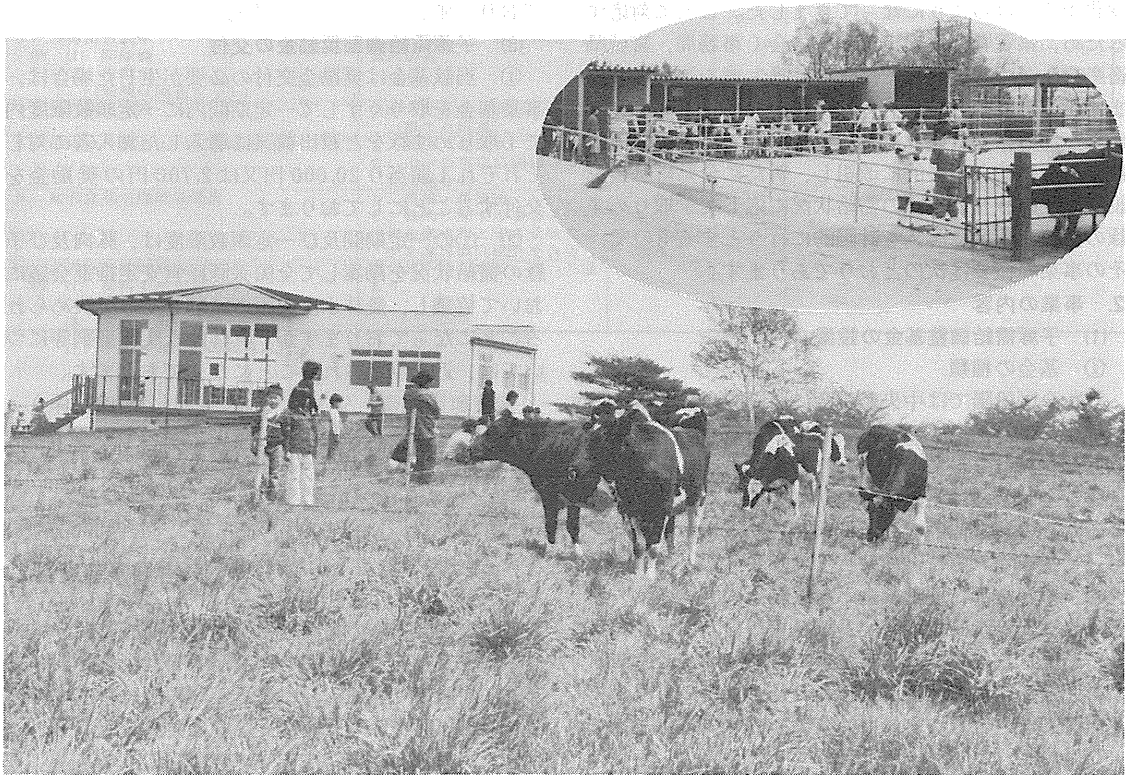
題字
宮城県知事 山本 壮一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号
法 宮城県畜産会
電話 (62-9180)

編集発行人 大石 武一

定価 1部60円

印刷所 K K 東北プリント



畜産研修施設と展示畜舎 (仙台酪農・大八山共同放牧場)

もくじ

子豚需給調整対策事業の概要……	2
豊かな明日の畜産経営をリース事業で……	2
昭和55年度家畜共済事業の実績……	4
広域家畜解剖施設の紹介……	5
“乳牛の祭典”本県産牛に栄誉輝く……	5
肉豚の肉質改善に関する調査……	6
豚抗酸菌症発生に伴う感染源の調査について……	7
昭和55年異常気象による草地飼料作被害の実態 と改善対策……	9
随想……	11
人物紹介……	11
畜産物市況……	11
畜産映画・スライドライブラリーの案内……	12
行事のご案内……	12

子豚需給調整対策事業の概要

宮城県畜産課

1. 趣 旨

近年における食肉の堅調な需要増加を背景に肉豚の生産頭数も大きな伸びを示してきましたが、最近に至り肉豚が過剰生産基調に推移するなど豚肉需給の動向変化がみられるようになってきました。これに対応するため、県養豚経営安定推進協議会（事務局、宮城県畜産会）が中心となって肉豚の計画生産を進めておりますが、更に本計画を有効適切に推進するため、従来から一部の県（17県）において行われている子豚需給調整対策事業を発展的に改組し、新たに全県に基金を設置し、肉豚及び子豚の需給状況に応じて子取りめす豚のと殺出荷又は導入を計画的に行うとするもので、その事業の概要は次のとおりであります。

2. 事業の内容

(1) 子豚需給調整基金の設置

① 基金の種類

全国段階では中央畜産会に全国基金、又県段階には、知事が指定する団体（宮城県畜産会を予定）に県基金を設けることにしております。

② 全国基金は中央畜産会が事業推進に必要な経費等のための運営基金で畜産振興事業団からの出資金をもって造成されることになっております。

③ 県基金は、運営基金と事業基金に区別され、運営基金は、畜産振興事業団及び県等からの出資金でもって造成されます。又事業基金については、畜産振興事業団及び県からの補助金、それに加入者の負担金でもって造成されることになっております。

(2) 子豚需給調整基金への加入者及び負担金

① 子豚需給調整基金への加入者は原則として子取りめす豚10頭以上飼養している者であって、その飼養頭数等を県養豚経営安定推進協議会の台帳に登録した者を対象とし、当該基金と加入契約を締結して加入することになっております。

② 当該基金への加入者は、台帳登録頭数1頭に付き2,400円（但しうち一定額を畜産振興事業団及び県から補助）を加入者負担金として納入することになっております。

(3) 子豚需給調整奨励金の交付

① 当該基金は奨励金交付の必要が生じた場合は、事業基金を取りくずして一定期間内に一定頭数限度内で子取りめす豚をと殺出荷又は導入した加入者に対しそれぞれ1頭当たり20,000円又は2,700円の奨励金を交付することにしております。

② ①の一定期間及び一定頭数限度は、豚肉及び子豚の需給状況を勘案して全国養豚経営安定推進会議において協議し、農林水産大臣の承認を受けて決められることになっておりますが、具体的な実施要綱等については、近く制定されることになっております。

(肉畜係)

豊かな明日の畜産経営を

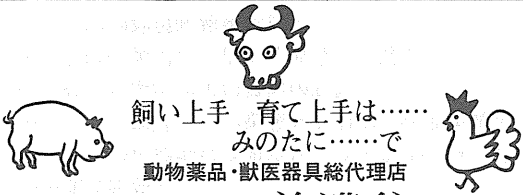
リース事業で

宮城県畜産課

この事業は畜産の振興のために必要な機械及び施設が無利子又は低利で利用できしかもそれが貸付期間終了時には取得できるものです。年間の貸付料は取得価格を貸付年数で除した金額となります。

1. 畜産近代化リース協会関係事業(抜粋)

リース事業名	リースの相手方(借受者)	最終借受者(再借受者)	貸付期間	貸付料等
1. 草地造成用機械施設 例 トラクターおよび作業用附属機械(トラック・連絡車簡易建物を含む)	県農業公社		6年間	※ 取得価格で無利子 1. 始めの5年間の貸付料の1年当りの額 貸付価格-(借受者負担金+最終年の貸付料の額)÷5年
2. 草地管理用機械施設 例 (1) 草地管理利用機械施設(トラック・連絡車簡易建物を含む)で借	1. 県または畜産振興事業団が出資者または構成員となっている県域法人	10ヘクタール未満の草地を管理し		2. 貸付期間の最終の年の1年間当り額



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

本 店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL883121
山 形 店 山形市山田字羽黒堂5番216 TEL454306
仙 台 店 仙台市大字布目字東通り57~1 TEL240963
鶴 岡 店 鶴岡市大字常磐湯本栄田3 TEL0246440300
いわき店 いわき市常磐湯本栄田3 TEL0246440300

こくておいしい大型びん……

森永 ハイグラウンズ牛乳

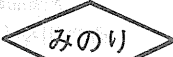
宮酪乳業株式会社
名取市飯野坂字山居
TEL 02238-4-5181

リース事業名	リースの相手方(借受者)	最終借受者(再借受者)	貸付期間	貸付料等																																
受者が自ら使用する更新用のもの。 (2) 草地管理利用機械で農業者が個人または共同で利用するもの。	2. 農協又は農協連 3. 市町村が主たる出資者または構成員となっている公益法人	用する個人または共同利用者		貸付価格×10% (残存価格相当分) 参考(例) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>取得価格が2,000千円の場合の貸付料</th> <th>借受者負担金</th> <th>(計)借受者が負担すべき額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>320千円</td><td>200千円</td><td>520千円</td></tr> <tr><td>2</td><td>320</td><td></td><td>320</td></tr> <tr><td>3</td><td>320</td><td></td><td>320</td></tr> <tr><td>4</td><td>320</td><td></td><td>320</td></tr> <tr><td>5</td><td>320</td><td></td><td>320</td></tr> <tr><td>6</td><td>200</td><td></td><td>200</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,800</td><td>200</td><td>2,000</td></tr> </tbody> </table> 備考 貸付料の納入は通常年9月・3月の2回です。	区分	取得価格が2,000千円の場合の貸付料	借受者負担金	(計)借受者が負担すべき額	1	320千円	200千円	520千円	2	320		320	3	320		320	4	320		320	5	320		320	6	200		200	計	1,800	200	2,000
区分	取得価格が2,000千円の場合の貸付料	借受者負担金	(計)借受者が負担すべき額																																	
1	320千円	200千円	520千円																																	
2	320		320																																	
3	320		320																																	
4	320		320																																	
5	320		320																																	
6	200		200																																	
計	1,800	200	2,000																																	
3. 生乳冷却貯蔵施設 例 農業者が個人または共同で利用するもの。(バルククーラー等)	指定生乳生産者団体(県生乳販連)	個人または共同利用者(農協・農協連を含む)	全上																																	
4. 搾乳施設 例 農業者が個人または共同で利用するもの。(パイプラインミルクカー, ミルキングパーラー, バケットミルクカー)																																				
5. 精液保存等施設 例 県内の精液保管のメインまたはサブセンターに設置する凍結精液保存器液体窒素補給器輸送用自動車	指定生乳生産者団体(県生乳販連)	借受者団体の直接または間接の構成員	全上																																	
6. 消毒用自動車 例 (1) 防除機 (2) 自動車(新規は両者セット)	農協・選協連・農業共済・農業共済連																																			
7. 生乳輸送施設	指定生乳生産者団体(県生乳販連)		全上																																	
8. 電光せり機および附属機械施設	1. 農協・農協連 2. 中小企業等協同組合または同連合会																																			
9. 食肉食鶏処理流通施設	1. 農協・農協連 2. 食肉に関する事業を営む者を構成員とする県域の中小企業等協同組合連合会	1. 農事組合法人 2. 事業共同組合																																		
10. その他の機械施設(特認) 例 (1) 飼料生産利用施設 (2) 家畜家畜飼養管理施設 (3) 家畜産物流通施設	協会の「特認事項」扱いの途あり。																																			

注) 申請は前年度の12月末日

2. 畜産環境整備リース協会関係事業(抜粋)

リース事業名	リースの相手方(借受者)	最終借受者(再借受者)	貸付期間	貸付料等
1. ふん尿乾燥機	1. 県域の農協又は農協連 2. 民法34条に基づき設立された法人 3. 特認団体	畜産農家又はこれらの小集団	5年	基本貸付料と附加料の合計額 1. 基本貸付料 取得価格 ÷ 年間貸付料 貸付年数 (最終年次に残存価格で取得する。) 2. 附加貸付料 (1) 再借受者が2戸以上5戸未満の共同利用する小集団の場合 年利 ~ 3.5% (2) 個人の場合 年利 ~ 5.0% なお、借受団体(窓口)の事務取扱い手数料として協会より当該団体に支払われる。
2. ふん尿散布機			5年	
3. 攪拌機			5年	
4. 運搬用機具 例 (1) フロントローダー (2) フォークリフト (3) ベルトコンベア (4) オーガー (5) トレーラー (6) 動力運搬車 (1又は2輪車) (7) 単軌条用運搬車(モノレールカー) (8) ポンプタンカー (9) 集ふん機, その他			4年	
5. トラクター 例 (歩行型, その他のもの)			5年	
6. 車			7年	
7. バーンクローナー			3~5年	
8. 鶏ふんボイラー			7年	
9. シャベルローダー			7年	
10. トレンチャー			5年	
11. 固液分離機			5年	
12. 汚水ポンプ			5年	
13. 発酵コンテナ槽			5年	
14. その他附属施設 (プラスチックハウス, 貸付機械を固定するためのコンクリート台その他)			5年	

飼料は  みのり

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー用配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社
石巻市川口町3丁目2番8号
TEL 石巻 (02252) (5) 4171-4

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事 畜舎工事
さく井工事 設計・施工
ポンプ工事
水処理工事

株式会社 北辰技術
仙台市鉄砲町18番地
電話 (0222) (93)2461

0225(5)4171-4

昭和55年度家畜共済事業の実績

宮城県農業共済連合会

昭和55年度は、60年来とも云われる大冷害となり、農業共済にとっては試練の年であったが関係者皆様

のご指導とご協力を賜わりながら制度本来の機能を十分に発揮し、農家の期待に応えられたことと思えます。おかげで家畜共済事業もこれら冷害の後遺症も少なく順調に進展しておりますこと厚くお礼申し上げます。

1. 加入の状況

加入の状況は(表1)のとおりで大家畜の引受は88,613頭、総共済金額183億5千万円1頭平均20万7千円となり年々補償額も高くなっております。

2. 事故の発生状況

近年は、家畜飼養の多頭化、肥育経営の大型化にともなって個体管理がおろそかになりがちで省力化の悪い面が目立ち、死廃病傷の事故も増加の傾向にありますが、家畜共済制度はこのように畜産農家が不慮の事

故によって受ける損害を補てんすることと、損害の未然防子を図ることを目的としているので制度本来の使命が果されているものと思われます。

最近の死亡、廃用事故の発生状況は(表2)のとおりで52年から増加の傾向にある。

昭和55年度の病類別死廃事故発生状況は(表4、表5)のとおりで乳牛では、産生后起立不能、乳房炎、骨折、脱臼が多く、肉用牛では、鼓腸症、肺炎、尿石症、骨折、脱臼が多い。

(表1) 年次別加入頭数、1頭平均加入額

年度	乳用牛		肉用牛		馬		豚		計	総共済金額
	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均		
50	23,920	114,612 ^円	45,880	140,559 ^円	305	160,918 ^円	534	30,375 ^円	70,639	9,255,681 ^円
51	24,468	123,803	48,545	152,258	241	181,452	548	31,405	73,802	11,203,090
52	25,646	134,000	51,271	169,000	206	201,000	609	33,054	77,732	12,173,961
53	27,275	145,400	53,698	185,130	164	249,700	3,295	48,461	84,432	14,112,513
54	27,589	155,109	57,283	208,017	157	279,045	4,591	51,651	89,253	16,476,160
55	26,789	160,889	61,683	226,890	141	306,879	5,728	53,869	94,341	18,678,822

(表2) 年次別死亡廃用事故頭数及び支払共済金

年度	乳用牛		肉用牛		馬		計		事故発生率	
	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均	頭数	支払総額	頭数	金額
50	931	88,292 ^円	980	108,560 ^円	24	132,618 ^円	1,935	191,577 ^円	2.8%	2.1%
51	856	101,378	984	116,638	10	129,900	1,850	202,849	2.5	1.9
52	1,031	104,849	1,079	127,789	14	164,786	2,124	253,445	2.8	2.1
53	1,199	117,180	1,298	142,129	18	128,172	2,515	327,290	3.1	2.3
54	1,252	126,897	1,310	157,976	5	149,200	2,567	366,570	3.2	2.6
55	1,281	135,376	1,539	172,405	11	262,499	2,831	441,637	3.2	2.4

(表3) 年次別病傷診療件数及び支払共済金

年度	乳用牛		肉用牛		馬		計		発生率
	件数	1件平均	件数	1件平均	件数	1件平均	件数	支払総額	
50	23,608	5,601 ^円	12,259	4,547 ^円	282	5,478 ^円	36,149	189,532 ^円	51.6%
51	25,129	6,136	12,915	4,864	196	5,326	38,240	218,057	52.2
52	27,148	6,616	13,582	5,245	187	5,754	40,917	251,918	53.1
53	28,020	8,221	15,316	6,469	176	6,853	44,512	330,642	54.9
54	30,713	8,014	18,094	6,362	149	7,107	48,956	362,305	57.6
55	29,779	8,334	21,502	6,458	123	8,325	51,404	388,073	58.0


(表4) 乳用牛の主な病類別死廃事故頭数

区分	加入頭数	産立前不 能	乳 房 炎	骨 折・ 脱 臼	心 臓 炎	第 四 胃 萎 縮	鼓 腸 症	関 節 炎	胎 胎 子 宮 炎	そ の 他	計
52	25,646	134	106	127	40	57	46	45	43	432	1,031
53	27,275	157	110	158	59	58	45	60	50	502	1,199
54	27,589	157	126	129	48	66	59	62	42	563	1,252
55	26,789	168	163	134	69	66	62	61	54	504	1,281

(表5) 肉用牛の主な病類別死廃事故頭数

区分	加入頭数	鼓 腸 症	肺 炎	尿 石 症	骨 折・ 脱 臼	胃 カ タ ル 炎	中 毒	心 臓 衰 弱	そ の 他	計
52	51,271	289	161	133	115	66	32	17	266	1,079
53	53,698	315	275	125	108	64	67	17	327	1,298
54	57,283	315	258	114	111	57	65	29	361	1,310
55	61,683	352	222	159	158	83	73	58	434	1,539

死亡廃用事故の45%は死亡事故であるがその46%は診療を受けないうちに死亡している等、個体観察の不足が目立っている。本県ではこれらの事故低減をはかるため、各地区(家畜保健衛生所管轄)毎に関係機関、団体



明治牛乳

明治乳業

医薬品総合商社
動物用薬品、器具機材

SENJUDO

株式会社 山田仙寿堂

取締役社長 山田修造

本社/仙台市木町通1丁目5番19号
電話/0222633151(大代表)
営業所/古川・石巻・気仙沼・盛岡・水沢・山形・米沢

等の協力を得て設けてある家畜事故対策協議会が中核となり、地域の現状に対応したご指導を頂き成果をあげておりますが、尚一層積極的な事故防止対策を構じなければこれ以上の事故低減はむづかしいものと思われます。(加藤)

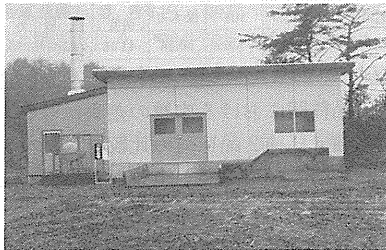
広域家畜解剖施設の紹介

宮城県畜産課

昨年から建設を進めてきた広域家畜解剖施設が完成し、いよいよ使用される段階になったので紹介いたします。

家畜保健衛生所業務の一つに、不明疾病の原因究明すなわち病性鑑定業務があって、そのため各家畜保健衛生所には解剖室および解体畜の焼却施設が併設され検査業務が行われておりますが、年々発生する家畜疾病の多発多様化に伴いその取扱数も増加してきている反面、各家畜保健衛生所の焼却施設は老朽化破損が大きくなり、なお近年は各家畜保健衛生所周辺環境の市街化が進むにつれて、諸々の事情から焼却施設の使用に支障が出てきたので、このたび黒川郡大郷町大松沢の宮城県化製事業協業組合敷地の一角に広域家畜解剖施設を建設しました。(写真1)

施設の内容は、解剖室、検査室、焼却炉および消毒槽などとなっております。とくに焼却炉



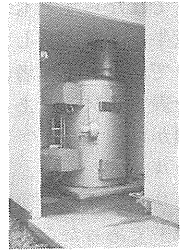
立型コムトロA-24で煙も臭も出ない無公害のすぐれた特徴をもった大型の焼却炉を設置しました。

(写真2)

利用の方法は各家畜保健衛生所で検査とくに病性鑑定の必要ある家畜が生じた場合はこの解剖施設を使用

し、解剖検査を行い、必要に応じた細密検査材料を採取し、さらに解体畜はすべて焼却することになります。

また、この施設の円滑な供用と適正かつ安全な運用を図るため、管理は仙台家畜保健衛生所が行なっておりますが、実際の使用責任は各家畜保健衛生所になっております。



(衛生係 郷内)

“乳牛の祭典”

本県産牛に栄誉輝く

宮城県畜産農業協同組合連合会

5年に1度開催されるホルスタインのオリンピックとも云える第7回全日本ホルスタイン共進会が去る4月15日より19日までの5日間群馬県前橋市で開催された。本県より代表牛7頭出品し、4頭が入賞、予期以上の成果を上げたことは真に喜ばしい限りである。

沖縄県を除いた全都道府県から300頭の精鋭が出品され、第1部より8部までの単独出品牛250頭のものに限って見ると、北海道産牛は31%の78頭である。1等賞以上の入賞牛は全部で126頭で、その内北海道産の入賞牛は約39%の49頭である。61%は殆んど自県産であったことは今回の大きな前進であると言える。然し第1部を除いた各部の上位は北海道勢が依然強く、まだまだの感がなきにしも非ずである。本県出品牛は全頭入賞

部	等賞	名	号	生年月日	父	牛	産地	出品者
2部	1等賞	リバーフィールド マドコン	クリッシー	54.8.25	ローマンデール	カウント クリスタン	本人産	登米郡中田町 菅原一徳
4部	2部	スイート マドキャップ	ファーム クリスチーナ	54.3.10	同上		本人産	登米郡南万町 鈴木清喜
4部	2部	ミリオン リージェン	サウンド クリスチーナ	54.1.1	エーバイン ハーモ リージェン		北海道	登米郡迫町 中野英雄
6部	優等賞	フラット チャンピオン	デュエス チャンピオン	52.11.20	ラウンドリー ノーデン プリンス		本人産	加美郡色麻町 鈴木耕一
6部	1等賞	マド クリスタン	コンドール クリスタン	52.10.30	カーネーション マドキャップ	コンクエスト	北海道	泉市 沢崎寛二
8部	2部	チエスナフ リーガル	カウント クリスタン	49.8.3	ローマンデール カウント クリスタン		本人産	加美郡色麻町 鈴木耕一
2部	2等賞	マウンテン ボンチアタ	シル クリスタン	48.10.6	ローマンデール カウント クリスタン		北海道	登米郡登米町 河内良

新誕生 最新の子豚用配合飼料

くみあい スーパーピグA(マッシュペレット)

- *嗜好性が大幅アップ
- *すばらしい発育効果を発揮
- *下痢・軟便が少なく、毛づや肌づや良好

農協・宮城県経済連・全農

動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

東北獣医薬品株式会社

TEL ☎ 7330・7338・7339

- 本社 仙台市上杉3丁目3-8
- 仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩1 02202(2)2278-9
- 山形営業所 山形市小石川四丁目9-24 0236(23)9909・9900
- 古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28 02293(4)2018-9

まではならずとも本人生産牛が3頭入賞し、中でも経産牛が2頭入賞したことは大きな進歩であり心強い限りである。生産者に対し又指導下さった関係者に敬意を表する次第である。尚今共進会入賞牛の約34%の42頭がローマンデール、カウント、クリスタン号の娘牛であったことも大きな特長であり、本牛の貢献度が全国的に普及されていることが伺われる。本共進会の出品者並びに関係者各位に深く感謝を申し上げると共に今后尚一層の御精進と、県当局並びに関係諸団体の御指導、御支援を賜る様お願いする次第である。(堀江)



— (畜試便り) —

肉豚の肉質改善に関する調査

佐々木英夫

最近上物格付率の低下が言われているが、格落要因として脂肪の付着に欠陥があるものが半分以上を示めている。一方食肉業者や消費者の間では異常肉や肉の未熟さ等肉質に対する関心が高まっており、肉質が原因で取引上不利になっているものもかなりあるものと予想される。したがって厚脂肪防止対策とあわせ、異常肉の発生防止、肉質の改善をはかることが今後豚肉の消費拡大をはかる上で重要な課題であろう。しかしながら肉質改善の目標となるべき評価基準は、かならずしも客観的であるとは言い難く又品種の特性等も考慮されていない。客観的な評価方法の確立が望まれるところである。そのため、いきなり試験ということではなく肉質を客観的(理化学的)に評価した場合どのような性状を示すか、いわば試験のための基礎資料をうる目的で本調査を行った。

本調査においては(1)90kg到達日令の早いものと遅い

もので肉質に差異があるかどうか、(2)品種間で肉質に差異があるかどうか検討を行った。但し調査は始めたばかりであり、例数が少なく成績としては不十分なものである点、御了承願いたい。

(調査方法)

供試豚は産内能力検定豚でランドレース種(以下L種)14頭、ハンプシャー種(以下H種)8頭である。

調査部位は第6、第7胸椎部の胸最長筋と背脂肪とし、と殺後1昼夜冷蔵したものから採取した。

(結果と考察)

1. 90kg時日令と肉の品質について

90kg到達日令と肉の理化学的分析結果について表1、表2に示す。水分はL種、H種ともに日令が進むにつれて少なくなる傾向はあるものの有意の差は示さなかった。又L種の粗たんぱく質を除いては、pH、保水力、肉色、脂肪の融点、粗脂肪に有意差は認められなかった。

表1 90 kg 到達日令と肉質 (L 種)

区分	水分	pH	保水力	肉色 (明度)	脂肪 融点 内層 外層	粗たん 白質	粗脂肪
90kg時日令							
150日令以下	74.87%	6.27	70.72%	35.40	44.15°C	42.05°C	22.93%
151~160	74.87	5.84	56.55%	38.98	45.08	42.72	19.48
161~170	74.76	5.77	61.04	38.86	44.50	43.37	21.21
171~180	74.66	5.75	63.97	38.84	44.07	41.84	21.29
180H令以上	75.33	5.92	61.97	36.20	43.44	41.59	20.95

表2 90 kg 到達日令と肉質 (H 種)

区分	水分	pH	保水力	肉色 (明度)	脂肪 融点 内層 外層	粗たん 白質	粗脂肪
90kg時日令							
151~160	76.23%	5.65	50.26%	41.06	42.04°C	36.70°C	19.10%
161~170	75.41	5.69	49.90	41.36	43.20	41.83	18.97

2. 品種間における肉質の差異について。

L種、H種2品種間の比較をしたものを表3に示す。H種はL種に比較し水分が多く保水力も劣った。また、H種は脂肪の融点も低かった。

これらのことからH種の肉質はL種に比べ水ばく締りに欠けるといえる。肉色は標準肉色と比較するとH種2.56、L種2.89でH種がやや淡くなっている。

色差計で測定すると赤色度ではH種7.81、L種5.48でH種の方が赤味が強かったが明度は表3に示すようにH種が高く、そのため全般的に肉眼では淡く感じら

画期的な家畜ふん尿処理用
めづまりのない

多板式固液分離機

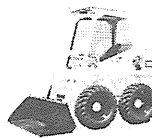
- 生ふん脱水の決定版
- 公害防止に貢献
- 省力化に威力



株式会社 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号

TCM東洋キョーロウ



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ティールシーエム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 0222-95-5517・5511

れたものであろう。たんぱく質、脂肪の含量はL種が高い値を示した。

表3 品種間における肉質の比較

品種	区分	水分	pH	保水力	肉色 (明度)	脂肪融点		粗たん 白質	粗脂肪
						内層	外層		
L種		74.91%	5.89	61.76%	37.82	44.33	42.39	20.92%	2.30%
H種		75.82	5.67	50.08	41.21	42.62	39.26	19.04	1.92

3. 90kg到達日令と肉の理化学的性状間の相関

90kg到達日令との相関を表4に示す。L種では肉中の粗脂肪との間に相関が認められた。即ち90kg到達日令の早いもの程粗脂肪が高くなる傾向を示した。他の項目との間には相関は認められなかった。

H種では水分含量との間に相関が認められた。即ち90kg到達日令の早いもの程水分が高い傾向を示した。他の項目については相関は認められなかった。

表4 90kg到達日令との相関

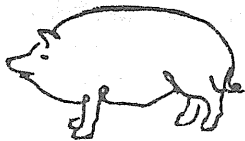
品種	区分	水分	pH	保水力	肉色 (明度)	脂肪融点		粗たん 白質	粗脂肪
						内層	外層		
L種		0.171	-0.304	-0.184	-0.073	-0.159	-0.113	-0.058	-0.552
H種		-0.744	0.287	0.237	0.169	0.250	0.442	0.102	0.396

* 5%水準で有意を示す。

(要約)

- (1)L種, H種ともに90kg到達日令の違いは, L種の粗たんぱく質を除き理化学的性状に差を及ぼさなかった。
- (2)品種間では水分, 保水力, 肉色, 脂肪の融点に差が認められた。
- (3)90kg到達日令と理化学的性状間にはL種においては粗たんぱく質含量, H種においては水分含量に相関が認められた。

(宮城県畜産試験場 畜産化学科)



東 西 南 北

豚抗酸菌症発生に伴う

感染源の調査について

最近、全国各地で豚抗酸菌症の発生事例が多数報告されているが、本県においても本症の散発的あるいは集団的発生が確認されている。今回一貫経営のA養豚場のと畜場出荷豚の中に、本症を疑うリンパ節の変性を認め、防疫対策の一環として調査を実施したのでその概要を報告する。

1. 調査方法

1) 生体検査

肥育豚(生後90~180日令)を対象に鳥型ツベルクリン反応(ツ反応)を実施した。

2) 分離菌の同定

と畜場での解体検査の際に採取したリンパ節およびA養豚場使用の未使用オガクズを雑菌処理後、1%小川培地に培養し、37℃で5~6週間後同定に供した。

2. 成績

1) 生体検査成績

表1はA養豚場の150日令肥育豚について2回に亘りツ反応検査を実施した成績であるが、初期の成績に

表1 150日令豚ツ反応検査成績

検査頭数	検査時期	
	55. 4. 14	55. 10. 14
ツ反応陽性頭数(頭)	5	1
検査頭数(頭)	52	27
陽性率(%)	9.6	22.2

比較し6か月後の陽性率は確実に増加していた。そこで日令別のツ反応検査をも実施したところ、表2に示すように陽性率は日令とともに急速な増加を示した。

なお、肥育豚の飼養形態から同居感染が疑われたの

牧場用柵には
強くて美しくスマートな

東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼株式会社営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL 0277053
販売元 塚本商事機械(株)東北出張所
仙台市花京院二丁目1 TEL 627771
代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL 046221

システム農業をクリエイトする

STAR

タフで働きものの
Mr 3000にチビの
Mr 2000が新登場



THB 2000

スター農機株式会社

仙台出張所 983 仙台市福田町2丁目4-20 佐正ビル内

0222-58-7301

表2 日令別ツ反応検査成績

検査頭数	日令	肥育豚			
		90	120	150	180≤
ツ反応陽性頭数(頭)		1	2	25	8
検査頭数(頭)		54	20	126	17
陽性率(%)		1.9	10.0	19.8	47.1

で、分娩月日の近似した母豚8頭を選び、生産子豚を同一条件になるように二分(A, B)して離乳後から150日令まで飼育し、途中90日令時と150日令時にツ反応検査を実施したところ、表3の成績を得た。すなわち、90日令時においてツ反応陽性豚が出現した豚房では出現しなかった豚房に比較し、150日令検査時に陽性率は約3倍と大きな差を生じていた。

表3 離乳後同一条件で飼育したA, B両豚房のツ反応成績

区分	90日令時		150日令時	
	ツ反応陽性頭数(頭) 検査頭数(頭)	陽性率(%)	ツ反応陽性頭数(頭) 検査頭数(頭)	陽性率(%)
A	0/27	0	4/25	16.0
B	1/27	3.8	10/22	45.5

A, B: 豚房

3. 分離菌の同定成績

分離菌の性状は1%小川培地上の菌の発育速度、集落形成の形態によっておおまかな分類が可能であるが代表的な菌について表4のように同定した。その結果Schaeferの血清型別分類によれば、リンパ節由来菌は4と8型で、未使用オガクズ由来菌は1と9型であると分類され、その他の菌については雑菌性抗酸菌と不明菌であった。

4. 考察およびまとめ

地元と畜場へ搬送される肥育豚の解体検査の中に、顎下および腸間膜リンパ節の結核様結節を供なう所見が続発していた通報をもとに、A養豚場をつきとめ、立入検査しツ反応検査を実施した。その結果、臨床的

表4 分離菌の同定

No	発育速度(週度)	集落形成	ナイアシン	硝酸還元	ウレアーゼ	カタラーゼ	カタラーゼ熱	ツイン水解	アタリスル	菌種名	Schaefer血清型
リンパ節由来菌	1	3W	RS	淡黄色	-	-	+	+	-	トリ型結核菌	8型
	2	2~3	S	"	-	-	+	+	-	"	?
	3	3	"	白	-	-	+	+	-	"	4
	4	2~3	"	黄~橙	-	-	+	+	+	M.gastri	-
	5	3	"	淡黄色	-	-	+	+	-	トリ型結核菌	8
オガクズ由来菌	6	~1	"	白	-	+	+	+	-	雑菌性抗酸菌	-
	7	2~3	R	黄	-	-	+	+	-	トリ型結核菌	9
	8	"	"	黄	-	-	+	+	-	"	1
	9	"	S	白	-	-	+	+	-	"	?

注) R: 集落表面ラフ, S: 集落表面スムーズ

異常を認めないが、肥育豚の約10%にツ反応陽性豚を発見した。当養豚場は自動噴霧装置を常備し、常時消毒励行しているにもかかわらず、経時的調査の結果、漸時ツ反応陽性豚が増加し、日令にともなう増加も認められるが、当養豚場における本症の発生は、症例は少ないものの今回の菌検索の結果では感染源の1つとして考えられた未使用オガクズ、すなわち外部要因による環境汚染の因果関係はうすく、むしろ、子豚期の感染が同居豚への蔓延をもたらすという内部要因が主因と考えられた。そこで、A養豚場への防疫対策としては、子豚への感染防止のため、①感染母豚の早期発見と淘汰、②分娩豚房の消毒(石灰の利用等)、③哺乳豚~子豚房の糞ワラ使用及び消毒、④肥育豚の長期滞在防止を行なうこと、⑤消毒剤の選定(グラム陰性菌に効果あるものを選ぶこと)を第一に指導している。(築館家畜保健衛生所技師 松本 忠)

『牛乳普及協会からのお知らせ』

県牛乳普及協会では牛乳の啓蒙普及を図るため、米倉会長自ら料理番組に出演するなど一般消費者に対するアピールを行なっておりますが、このたびヤング向けの「四季用ポスター」及び「ミルク小冊子=創刊号」を作成致しました。

協会では、これらのポスター、小冊子をご希望の団体等におわけしておりますので、お気軽に協会にお申し出下さい。

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市二枚橋第一地割296-5
TEL 0198 294151(代)

古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1
TEL 02292 (3)8888(代)

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所



昭和55年異常気象による

草地飼料作被害の実態と改善対策

(1) 被害の実態

1) 統計からみた被害の状況

過去5ケ年間に於ける牧草、飼料作関係の10a当り収量は表-1のとおりで、昭和55年度の反収を昭和54年度と対比すると牧草類で76.8%、青刈トウモロコシで78.5%、飼料用カブは96.8%で、牧草類、青刈トウモロコシの減収が特に注目される。

過去冷害年の昭和51年度との対比では、青刈トウモロコシは略同様の反収がみられたが、昭和51年度の反収を100とした場合、牧草では90%で減収、飼料用カブは128%で増収した数値を示した。牧草、飼料用カブ両者の作付面積からみれば粗飼料の生産は、昭和51年度の冷害年より昭和55年度における被害が大きいといえる。

表-1 牧草・飼料作の年次別反当収量 (kg/10a)
農水省統計情報部の面積・収穫から試算

種類	51	52	53	54	55
牧草類	3,163	3,661	2,711	3,717	2,855
青刈とうもろこし	3,423	4,388	3,832	4,420	3,472
飼料カブ	2,834	3,790	3,831	3,769	3,649

2) 実態調査からみた被害の状況

宮城県農作物異常気象対策本部が県下各農業改良普及所を通じて調査した結果、牧草の被害面積は9,133haで全体の73.2%を占め、被害額は868,440千円に及んでいる。被害の割合では30~50%のものが最も多く栽培面積の30.6%を占め、10~30%の被害が27.1%、1~10%が17%、被害度の高い50~70%のものが10.5%となっている。

青刈トウモロコシの被害面積は1,905haで総作付面積の78.5%を占め、被害額は211,682千円と見込まれる。被害率では10~30%のものが最も多く作付面積の46.6%を占め、30~50%の被害が21.7%、1~10%が13.3%と牧草類に比し被害率はやや少ない結果であった。

実態調査による牧草、飼料作の減収量は、牧草類で86,844t、青刈トウモロコシで19,245tとなっており、越冬用の乾草、サイレージが例年に比して25%程度不足をきたしたものと推定される。

3) 生産ほ場における被害の状況

当場で実施した試験ほ場での牧草類では前年を上回る数値を得たが、実際の生産ほ場では長雨の影響でトラクターのは場内作業が困難となり1回以上の刈取り

減をきたしたほか、特に乾草調製ではしばしば降雨に見舞われ2番草以降における大幅なロスがみられた。このことは県内各地でも同様の傾向を示した。

また、青刈トウモロコシでは、成熟期までの日数が長くなり収穫期が例年に比して遅延した。一般に5月上旬頃までに播種されたものは概ね期待収量が得られたが、6月に入り晩播したものは雌穂が未成熟で不稔粒のものが多く、著しい減収をきたした。この傾向は県内の何れの地域とも同様で未成熟のままサイレージ調製されたものが多い。

(2) 各種試験の成績

1) 牧草類系統適応性検定試験

過去3カ年にわたるイタリアンライグラスの平均収量は表-2のとおりで、55年次の収量は前2年と差したる開きがなく、生草重では寧ろ上回る収量を得た。

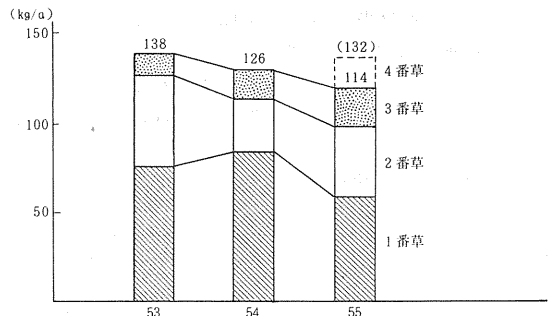
表-2 イタリアンライグラスの年次別収量 (kg/a)

53年			54年			55年		
品種数	生草重	乾物重	品種数	生草重	乾物重	品種数	生草重	乾物重
11	720.8	142.6	5	787.3	125.4	9	872.0	133.7

3ケ年を通じ供試した同一の5品種についての乾物収量を年次別、番草別に比較すると図-1のとおりで、55年は前2年に比し1番草の収量が低く、2、3番草の収量減少カーブが緩いことが特徴的である。1番草低収の要因としては発芽、初期生育及び越冬状況にも大きな差がみられないことから萌芽から刈取りまでの気象推移によるものと考えられる。

なお全体として年間収量の減少がみられなかったことは53、54年次が密度の低下から3番刈りで調査を打ち切りせざるを得なかったのに対し、55年次が4番草まで刈取りした結果によるものである。

図-1 イタリアンライグラス(5品種)の年次別・番草別乾物収量比較



2) 青刈トウモロコシの品種適性調査事業

① 絹糸抽出期

品種適性調査事業による青刈トウモロコシの品種別、年次別絹糸抽出期は表-3のとおりであるが、55年の抽出期を53、54のものと比較すると表-4に示したとおり、それぞれ3.1日~4.4日の遅れがみられた。

表-3 青刈とうもろこしの品種別年次の抽糸期

品種	年次	53年	54年	55年
タカネワセ			8/2	8/3
アズマイエロー	7/31	7/30	7/30	8/4
バイオニヤA号	7/30	7/26	7/26	8/3
交3号	7/31	8/5	8/5	8/5
ウィスコンシン115	7/31	7/28	7/28	8/5
ニューデント115	7/31	7/26	7/26	8/5
バイオニヤ中晩生	7/31	7/25	7/25	8/2
スノーデント1号	7/31	8/5	8/5	8/6

表-4 播種から抽糸期に至る日数

年次	日数
53	72.9日
54	71.6日
55	76.0日

注) 5/18播種

② 黄熟期の遅れ

青刈トウモロコシ供試品種各年次のTDMを表-5に示したが、53、54の両年次は黄熟期前に刈取りしたため黄熟期刈りした55年次との対比では適正を欠くことになるので、TDMが30%に達するに必要なSHUを推算(790℃)し、両年次の気象表から790℃に至る日数を求め抽糸期に上積みして黄熟期を推定した結果、55年における黄熟期の遅れは53年に比し18日、54年に比し20日遅れとみられた。

表-5 各年次のTDM及び黄熟期

年次	区分	率(%)	必要SHU	黄熟期
53		28.6	790℃	8月30日
54		21.4	790℃	8月28日
55		30.0		9月17日

注) 53、54年次は推定黄熟期、必要SHU=抽糸期から黄熟期(TDM30%)に至る単純積算温度

③ 作況指数

各年次の生育収量を表-6に示したが、乾物率が異なるので、刈取熟度と収量の関係(摘引1,979)を用い53、54両年次の収量を水分70%に補正して比較すると表-7のとおり53、54年次に比しそれぞれ91、74の指数を示し、両年次合計の平均対比では77の作況指数と推定された。

表-6 青刈とうもろこし(8品種)の年次別生育収量

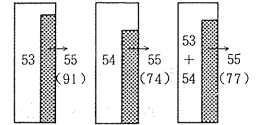
区 年次	生育		収量(kg/a)				
	稈長 cm	稈茎 cm	生草		乾物		
			総重	雌穂	率(%)	総重	率(%)
53	234.6 (10.9)	16.4 (2.0)	567.6 (107.8)	-	-	162.4 (34.7)	28.6 (3.2)
54	249.8 (14.7)	26.2 (5.2)	662.4 (89.3)	61.9 (8.1)	38.3 (3.5)	140.5 (15.7)	21.4 (1.7)
55	248.6 (16.7)	20.4 (1.6)	453.1 (125.9)	62.4 (11.6)	48.8 (4.6)	132.8 (28.8)	30.0 (4.1)

注) 品種は早生種、()内は標準偏差

表-7 昭和53、54年次と対比した昭和55年次の

作況指数(kg/a 生草収量)

区分 年次	実収量	乾物率	推定収量
53	567.6	28.6	560.7
54	662.4	21.4	616.0
55	453.1	30.0	453.1



3) 青刈トウモロコシの展示は成績

県下の農業改良普及所において54、55両年度にわたり実施した展示は試験調査の結果から、同一品種について生育日数、収量等を比較してみると表-8のとおり54年度に比し単純平均で7.3日の生育遅延がみられ、収量で15.8%の減少となっている。

表-8 品種別の前年対比生育日数と収量

品種	54年		55年		54年対55年	
	生育日数	収量	生育日数	収量	生育日数	収量
スノーデント2号	112.2 ^H	7,262.2 ^{kg}	123.4 ^H	6,420.6 ^{kg}	11.2 ^H の遅延	88.4% 11.6%減
バイオニヤ2号	116.4	6,993.2	121.0	5,885.8	4.6 "	84.16% 15.8%減
ゴールドデント1102	115.6	7,123.2	121.6	5,692.0	6.0 "	79.9% 20.1%減
平	均 114.7	7,126.2	122.0	5,999.3	7.3 "	84.19% 15.8%減

注) 生育日数は、播種から黄熟期までの日数
収量は、黄熟期における生草収量

(3) 技術改善対策

異常気象に対応した改善対策を要約すると、概ね次のとおりである。

1) 牧草

①牧草の生育遅延がある場合は、刈取り時期を若干遅らせると共に追肥による生育回復を図る。

②長雨による過湿は病虫害発生要因となるので、過繁茂にならぬよう適期刈取りを励行する。

③牧草の調製が困難な場合は、水分調整材料の糖含量、サイロ密封に留意しながら、できるだけサイレージ調製を行う。固定サイロがない場合や不足の場合はプラスチックフィルムにより対応する。

2) 青刈トウモロコシ

①青刈トウモロコシの栽培期間中は過湿にならぬよう特に転換畑での横透水防止や地表水の迅速な排除について工夫改善する。

②青刈トウモロコシは早、中、晩の品種により発芽から成熟までの日数を異にする。低温の影響は晩生種に多い。天候回復しても成熟が期待できない場合は早刈りして排汁に留意しながらサイレージ調製を行う。

③次年度以降の青刈トウモロコシについては適期播種を励行して、低温少照による被害を最少限に止めるよう努める。

(宮城県畜産試験場研究第三部 古山元彦)

随想

30年を迎えた家畜 保健衛生のあゆみ

戦後我が国の食生活も国民所得の向上と共に、澱粉質食料から蛋白質主体へと移行して、畜産がめざましい勢いで伸びて参りました。

そして、生産者から経済性の高い健康なる家畜の要望が高まり、改良と増殖が進められ、適地適産と主産地形成が盛んに取上げられて来ました。

これに伴って家畜の防疫衛生が重要な課題となり、家畜保健衛生所法が制定されて家畜の健康を守る施策が強力に推進されてきました。

家畜の疾病を予防し、常に健康なる状態で飼育して損耗を防止し、生産性を高めるために本県でも11ヶ所の家畜保健衛生所が設置され職員が配置されました。それは昭和25、26年頃でした。

その頃は馬の伝染性貧血症の検査、馬流行性脳炎、豚コレラ予防(春秋2回)、牛の流行性感冒等の予防注射等が主なる業務で、その他牛の人工受精の普及のための業務が行われ、仕事も野外で行うものが大部分でした。しかし時代の流れと共に役肉用としての家畜が機械の出現により役用から姿を消し、肉用としてのみ飼育され収益性を追求するために多頭や集団化と経営がかわりそれで疾病も多種多様となり、法定伝染病よりむしろ流行病や一般病の損耗が多くなりました。

我々の仕事も今までの野外や臨床の検査から、逐次室内の科学的検査が多くなり又、新薬等の開発により家畜衛生の対応も年々専門的となり、高度の技術が求められる様になりました。

これら一般情勢の変化と併行して、家畜保健衛生所も広域化と拡充整備が進められ、地域の家畜疾病への迅速なる対応と防疫衛生の普及啓蒙が強力に図られ、民間獣医師との緊密なる連繫のもとに家畜の防疫衛生業務が推進される様になってきました。殊に畜産物など食用に供される生産物で、人の健康を損うことのない安全なものを確保するために、家畜の衛生を担当する者の使命は一層大切となって参りました。

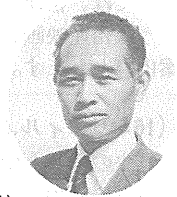
獣医技術も社会の要求に応じて進歩を遂げておりますが、家畜が健康でしかも充分なる能力を発揮させるためには何んといっても飼養環境を良くし、家畜本来の生育が出来る状態において飼育することが大事ではないかと思ひます。

それには経済性も大切ですが、家畜の頭数に見合う規模の施設、生活し易い環境条件の保持、家畜の健康管理、合理的なる飼料給与等が重要な要件と思ひます。従って今後も時代の変せんによって変わると思われ

る畜産経営に合致した家畜の衛生管理を高度な技術と知能をもって推進することが必要と思ひます。

(仙台家畜保健衛生所長 佐々 克行)

人物紹介



早川 薫 氏

(宮城県畜産試験場長)

氏は、昭和20年9月帯広獣医畜産専門学校を卒業され、宮城県種畜場をふりだしに、県農業改良課、種畜場および柴田・伊具家畜保健衛生所長、畜産課家畜改良係長、畜産課技術補佐、大河原・仙台家畜保健衛生所長を歴任し、昭和54年4月10代目畜産試験場長に就任されました。これまで、家畜改良、衛生と広く技術、行政面にと経験豊かで、特に県農業公社牧場、県岩出山牧場の開設等に多大なる貢献をされ、その人となりは、生粋の畜産技術者で、仕事を優先される反面、人望も厚く、温情味豊かで、頼り甲斐のある方です。

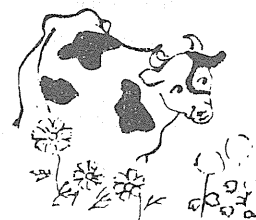
趣味は多彩で、若い頃は剣道、その後盆栽に変わり、現在は、釣で河・海と大公望をたのしんでおられます。

いつまでも元気で本県畜産発展のため益々ご活躍頂き、今後のご健闘をお祈り致します。(渡辺)

畜産物の市況

種目	規格	単位	価格	摘要
卵	A級	1 kg	304	卸売価格4月平均
ブロイラー	A級	と体1kg	317	"
		枝肉1kg	732	"
豚	肉	上	702	"
		中	"	"
牛	和牛メス	上	2,236	"
	和牛ヌキ	上	2,185	"
	"	中	1,825	"
肉	乳牛メス	中	1,303	"
	乳牛ヌキ	中	1,235	"
和牛子牛		1頭	355.015	小牛田家畜市場5月平均
子豚		1頭	33.237	"

卵、ブロイラー、豚肉、牛肉価格……県経済連調べ
和牛子牛、子豚……県畜連調べ



畜産映画・スライド

ライブラリーの案内

畜産会では、畜産農家の方々へ視聴覚指導用として次のような畜産映画、スライドを貸出しておりますので案内いたします。

映画 (16ミリフィルム)

- ① 1. 乳牛のエサと栄養障害
- ② 2. 最近の乳牛の病気
- 3. 放牧牛の衛生
- 4. これからの乳質改善
- 5. 乳牛のしつけ
- 6. 上手な牧草の作り方と利用
- 7. 草と共に生きる
- 8. 鶏、豚、牛の害虫
- 9. 和牛の生産、よい素牛の育て方
- 10. 肉用牛の生理と栄養
- 11. 豚改良への道
- 12. 最近の豚の病気
- 13. 豚のふん尿処理
- 14. 新しい育雛の技術
- 15. ひな育成と日常管理
- 16. 鶏の生理と伝染病
- 17. ニューカッスル病とその対策
- 18. 養鶏経営を考える

スライドの部

- 1. 通年サイレージへの道
- 2. 水田利用による飼料生産
- 3. 乳牛の二本立てエサ給与シリーズ
 - I 誤ったエサが牛を苦しめる
 - II 二本立てエサ給与の実際と牛の生理
 - III 二本立て給与のエサ計算
- 4. 畜産シリーズ
 - I 畜産総論と経営
 - II 酪農
 - III 肉用牛の飼養
 - IV 養豚
 - V 養鶏
 - VI 家畜衛生
- ⑤ 5. 里山の開発とその利用

新刊図書案内

粗飼料生産の新技术 定価 1,300 円
 肉用牛飼養と粗飼料生産 定価 2,000 円
 効率的な養豚技術 定価 1,300 円
 中央畜産会発行・お申込みは宮城県畜産会へ



行事のご案内

行事名称	主催	とき	ところ	内容
飼料作物生産技術講習会	宮城県畜産会	昭和56年 6月12日	宮城県大河原 合同庁舎	これからの飼料生産と栽培技術 講師：農水省草地試験場 飯田克実氏
第17回宮城県同志会ホルスタイン共進会	宮城県ホルスタイン改良同志会	6月20日	古川家畜市場	乳牛 120頭
黒川家畜市場肉用牛共進会	宮城県経済農業協同組合連合会	8月4日	黒川家畜市場	肉用牛 180頭
肉用牛講習会	宮城県農業短期大学	8月	宮城県築館合同庁舎	肉用牛繁殖主体
農業祭参加第8回宮城県種豚共進会	日本種豚登録協会宮城県支部	9月13~14日	小牛田家畜市場	出品頭数 100頭
第4回東北地区ホルスタイン共進会	東北地区ホルスタイン改良協議会	9月26~27日	岩手県雫石町中央家畜市場	乳牛 200頭
農林水産祭参加第21回仙台牛枝肉共進会	宮城県経済農業協同組合連合会	10月4~7日	仙台中央食肉卸売市場	黒・去 80頭、褐 10頭 雌 20頭、ホル・去 50頭
農林水産祭参加第21回仙台牛共進会	宮城県畜産会	10月18~20日	宮城県中央家畜市場	黒毛和種 120頭、乳用種 30頭
畜産機械器具展示実演会	"	10月26~27日	小牛田町	"
昭和56年度宮城県乳用牛肉用牛共進会	宮城県畜産農業協同組合連合会	10月26~28日	小牛田家畜市場	乳牛 115頭、和牛 124頭
第1回全日本ブラックアンドホワイトショー	全国ホルスタイン改良協議会	11月8~9日	静岡県袋井常設家畜市場	乳牛 250頭
黒川家畜市場肉用牛共進会	宮城県経済農業協同組合連合会	12月4日	黒川家畜市場	肉用牛 180頭
"	"	昭和57年 3月4日	"	"